

【12月のテーマ】 白黒つけよう！2種のセキレイ

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）
・ 蒲田知子（鳥の博物館市民スタッフ）



▲地上で餌を探すハクセキレイ（雌の成鳥）

セキレイ類は、水辺に暮らす小鳥で、長い尾を上下に動かす動作が特徴的なグループです。そのうち、ハクセキレイとセグロセキレイはともに手賀沼周辺で1年中みられる身近な鳥ですが、その白黒の姿は比較的良く似ています。今回は、2種の見分け方を覚えて、彼らの冬の生活をじっくり観察してみたいと思います。

2021年12月11日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

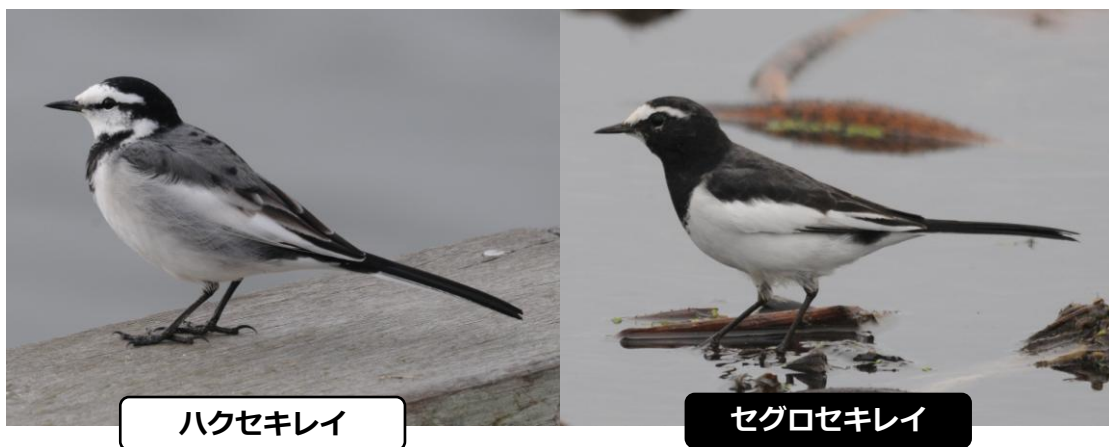
ハクセキレイとセグロセキレイの見分け方

①顔のもよう



ハクセキレイでは目の下が幅広く白いのに対し、セグロセキレイでは細い白色部があるだけです。この点は巣立ち後すぐの幼鳥を除いて、一年中つかえます。

②背の色



ハクセキレイの冬羽は雌雄ともに背が灰色で、頭部の黒との違いがはっきりしています。セグロセキレイは一年中背が黒く、頭部との色の違いはわずかです。ハクセキレイの夏羽の雄は背が黒くなるので注意しましょう。

③飛び立つときの鳴き声

飛び立つとき、ハクセキレイは「チチッ、チチッ」と澄んだ声で鳴きます。セグロセキレイは「ジジッ、ジジッ」と濁った声で鳴きます。この点は一年中、どの年齢の鳥にもつかえます。繁殖期にさえずるときの声は兩種とも長い複雑な節回しで鳴きます。